

尚綱子育て研究センター

# 児やらい

*koyarai vol.13 2016*

Child-rearing to generate mutual recognition  
Child Studies Center at Shokei

第13巻 2016年



## はじめに

2016年4月14日9時26分、本誌『児やらい』第13巻の編集作業の最中に「熊本地震」が起きました。発行までの間、「生きる」こと、「子どもを育てる」ということについて、改めて考えさせられました。本誌を手にとっていらっしゃる皆様の中にも、被災経験をお持ちの方が多数いらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。

私自身も子どもたちと共に8日間の避難所生活を過ごし、その後も有志と炊き出しを続けてきました。はじめは物資の届かぬ中、職場の同僚や知人・友人にSOSを発信すると、仕事が終わってから夜遅くに米や水、その他にも様々な物資を運んでくれました。そのお陰で最も多いときで1,400人分のおにぎりを握り、みそ汁をつくることができました。この一杯の味噌汁と握り飯一つに、ご協力いただいた多くの方々の思いが詰まっていました。

「生きる」ということは、いろいろな人と知恵を出し合い、話し合いながら、その時の最善を尽くしていくことではないか。今回の経験を通して、人間は決して独りぼっちでは生きることができない存在である、だからこそ、周りの人々と力をあわせながら生きていく「社会的な存在」ではないかと強く感じました。「子育て」も然り。決して親だけでできるものではなく、様々な世代の人垣の中で守られ、可愛がられ、叱られ、甘えさせてもらい、そうやって子どもは大きくなっていくのだと実感しました。

私たち尚綱子育て研究センターには、この「子育ての社会化」をめざして、さらに「子育て研究」を発展させていく役割・課題があります。それは、単に「頑張れ!」と叱咤激励する子育て研究ではなく、「共に考え歩んでいく」という共同のスタンスが求められます。再び私事ですが、震災から数日が過ぎた頃、家の片付けをするために一時帰宅しました。ラジオの震災情報を聴きながら、子どもを連れて短時間で作業を済まそうと必死になっていた時です。そのラジオから「頑張れ!」を連呼する激励の歌が流れてきました。疲れがピークに達していた私にとっては、「もうこれ以上、頑張れない…」。思わず悔しさの涙が込み上げてきました。こんな気持ちになったのは、はじめてです。しかし、……。もしかすると、これまで自分も、疲れた子どもや大人に「頑張れ!」のメッセージばかりを送り続けていたかもしれない。そう思うと、どんなにつらい、悲しい気持ちにさせてしまったことかと深く、深く反省しました。

大人も子どももみんな頑張っているのです。その頑張り方は一人ひとり違います。そこを認めていくのが、保育や教育・福祉の役目かもしれません。それが幼ければ幼い人ほど、大人の期待を敏感に感じ取り、一生懸命に頑張ります。子育ての中で常に心に刻んでおかなければならないことは、子どもたちが本当に「今を存分に生きているか」ということではないでしょうか。私たち大人は、その素晴らしさを、子どもたちと共有し、親や保育者といった子育て仲間と一緒に噛みしめていけばよいのではないかと。

今回の『児やらい』は、この「共に生きる」「共に育てる」という視点から、各種論文、実践報告、事業報告をまとめました。今後も現場の実践者と共に歩みながら、子育て研究に取り組めることを心より願っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

2016年6月30日 初夏の晴天に希望をこめて

尚綱子育て研究センター・センター長

増淵千保美

# 目 次

## はじめに

### I 論文

- 1 環境音楽の視点から見た保育の環境音…………… 3  
-潜在する音楽の発見-  
曾田 裕司
- 2 保育者養成校学生の学業的延引行動と抑うつ、ストレスとの関連…………… 11  
小川内 哲生・龍 祐吉
- 3 現職保育者の創造性に関する一考察…………… 21  
青木 理子・小川 鮎子・小松 恵理子・下釜 綾子・矢野 咲子
- 4 保育者の早期離職における課題…………… 29  
-保育者の確保と保育の質の向上を求めて-  
横山 博之・重松 由佳子・柴田 賢一・増淵 千保美
- 5 保育現場における保育相談体制のあり方について…………… 53  
緒方 宏明
- 6 保育内容「言葉」における初学年学生の本および絵本に関する認識についての一考察… 61  
～保育内容「言葉」授業実践への基礎的調査～  
北口 己津子

### II 実践報告

- 1 乳幼児の発達と運動（理論編）・（実践編）…………… 71  
山野井 恵摩
- 2 食べることは生きる権利（講演記録）…………… 93  
平松 知子
- 3 幼児教育学科専門研究ピーク制の取り組み 専門研究Ⅰ・Ⅱ…………… 111  
-健康・遊び・体育：柿原ゼミ紹介-  
柿原 一貴

### III シンポジウム

#### 第16回尚綱子育て研究センター講演記録

- テーマ「子どもの育ちの根底にある大切なものって？～脳科学から見た子育て～」…………… 123  
講師：成田 奈緒子 氏
- シンポジスト1) 共感し合える保育者と保護者の関係づくり…………… 137  
～保育参観の見直し～  
山本 直美 氏
- シンポジスト2) ひまわりの日々のくらし…………… 141  
～のんびり、ゆっくり、じっくり～  
西富 ひろみ 氏

### IV 事業報告

- 1 平成27年度尚綱子育て研究センター事業報告及び活動実績…………… 148
- 2 乳児保育研究会報告…………… 149
- 3 公開シンポジウム報告…………… 159
- 4 第2回 保育実践講演会…………… 161
- 5 地域の子育て支援にむけて（地域連携研修会）…………… 162
- 6 平成28年度事業計画…………… 164

投稿規程…………… 166

編集後記…………… 167